

## 論文審査の結果の要旨

平成 25 年 5 月 20 日に河野里佳先生の学術論文 “Adrenomedullin in Peritoneal Effluent Expressed by Peritoneal Mesothelial Cells”に関する学位審査委員会を開催した。まず本論文が日本腎臓学会の英文誌 Clin. Exp. Nephrol.に掲載されており、倫理性にも問題のない事が確認された。

本論文は腹膜透析患者の排液中に含まれる Adrenomedullin を検討したもので、Adrenomedullin は腹膜中皮細胞から発現をしており、中皮細胞におけるアミド化によりその活性が発現している事を明らかにしたものである。これまでに腹膜透析患者において Adrenomedullin を検討した論文はなく、その意味で新規性、将来性のある検討と思われる。この論文に対して審査委員から以下のような問題点の指摘がなされ、質疑応答が行われた。

1. 臨床研究としての検討症例数が 20 例と少ないのではないかと？さらに症例数を増やすべきではないのか。それに対して本邦の腹膜透析の現状、症例数を増やす事の難しさを説明し、今後さらなる検討を続けたい事が述べられた。
2. 中皮細胞中での発現を示す二重染色が重要であるが、その写真の掲載方法に問題がある。それについては、論文投稿時点では幾つかの写真があったが、論文査読の段階でこの写真での掲載となった。
3. Adrenomedullin の発現が中皮細胞からの発現と言っているが、血液中からの移行の可能性が否定できない。それに対して血液中からの移行は否定できないが、二重染色と相関性から中皮細胞での発現を確認した。
4. 腹膜劣化との関係を、CA125 ならびに腹膜平衡試験 (PET) との相関性のみで議論しているが、内容に矛盾がありその意味を明確に説明できていない。この点に関しては、了解しているが今後の検討課題としたい。
5. 透析液中の Adrenomedullin 測定の意義が明確でない。それに対して、現在は腹膜劣化の指標と考えている。

以上のような議論をふまえて、現在の論文にはまだ不備な点はあるものの、質問に対して明確に答えている点、さらに申請者の学識、人格、発表態度、臨床研究の実施能力などをふまえて、総合的に判断して埼玉医科大学医学博士の称号にふさわしいとの意見で一致した。

最終的に審査員全員一致で医学博士に「適格」と判定した。